

おすすめ 資材

中川根営農経済事業所が
おすすめします！



びっくりするほどよく育つ！
『有機一発肥料16-9-10～果菜類用～』

◎価格・規格 **1kg 692円(税込)**

◎特徴
有機一発肥料は、溶け出す時期の異なる被覆肥料が数種類混ざっています。収穫時期まで肥料が効き、肥切れの心配もありません。追肥の必要がなく、初めての方でも失敗の少ない肥料で、果菜類用の他に葉菜類、根菜類、タマネギ類用などもあります。

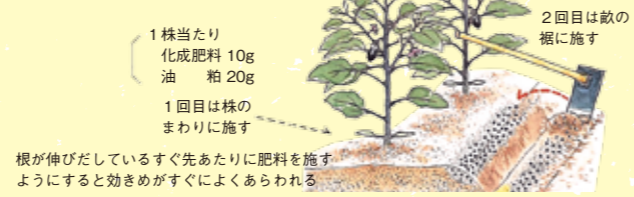
◎使用方法
元肥として、定植の1～2週間程度前に標準施肥量を施用し、土壌全面とよく混ぜ合わせておきましょう。作物により施肥量が異なるため、下記の表を参考にしてください。

品目	1株あたりの標準施肥量	品目	1株あたりの標準施肥量
ナス(春夏作)	200g	キュウリ	125g
トマト	80g	ミニトマト	80g
ピーマン	130g	シシトウ	30g
カボチャ	220g	イチゴ	17g
ニガウリ(ゴーヤ)	160g	ナガイモ・サトイモ	45g

詳しい使い方や使用量は、
最寄りの営農経済センターへ

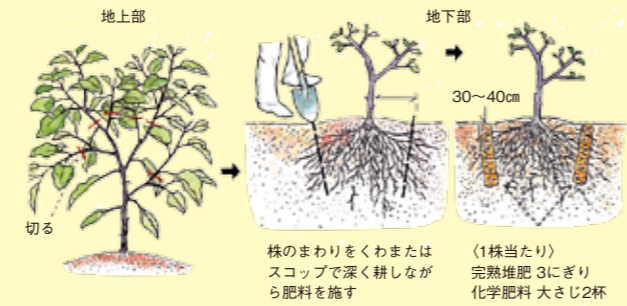
⑤ 追肥・中耕

1回目は株のまわりに施し、2回目は畝の裾に施しましょう。



⑥ 更新剪定

内部の込み合った枝、病害虫のついた枝葉を切除した後、追肥します。

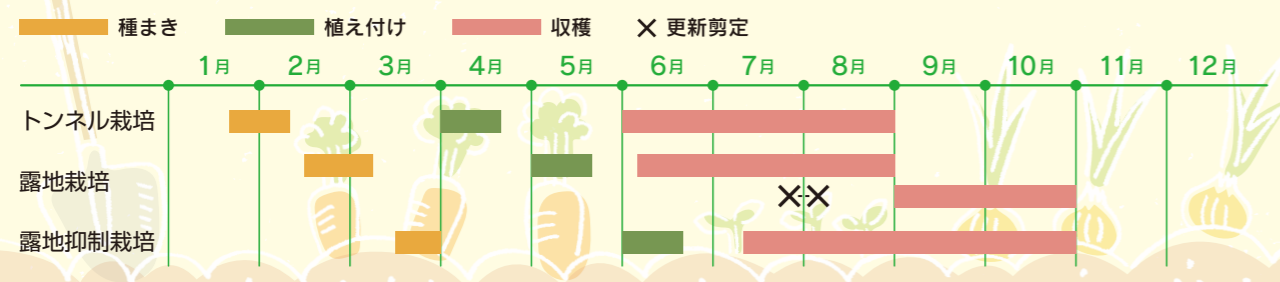


⑦ 収穫

花の形や色、つく位置などをよく注意して、草勢が悪くになったら小さいうちに収穫しましょう。株の負担を軽くし、追肥を行うと草勢の回復が早くなります。

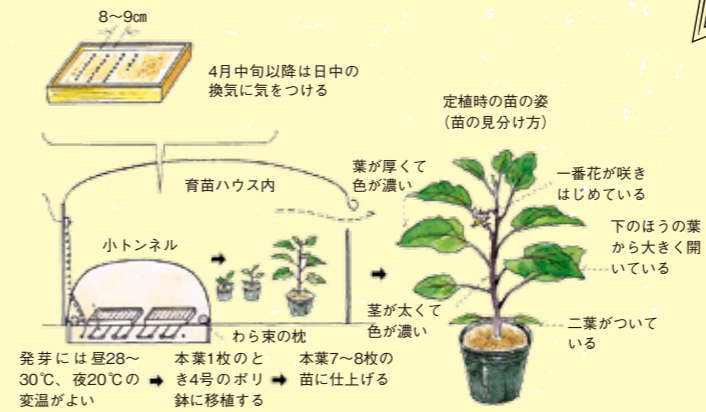


栽培カレンダー



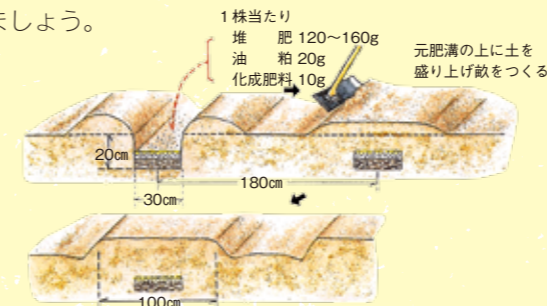
① 苗づくり

種の間隔は0.5～0.8cmくらいの間隔でまき、二葉の時に葉が重なり合わないくらいに間引きします。



② 畑の準備

ナスの根は深く伸びるので、元肥は畝の中心へ深めにまきましょう。



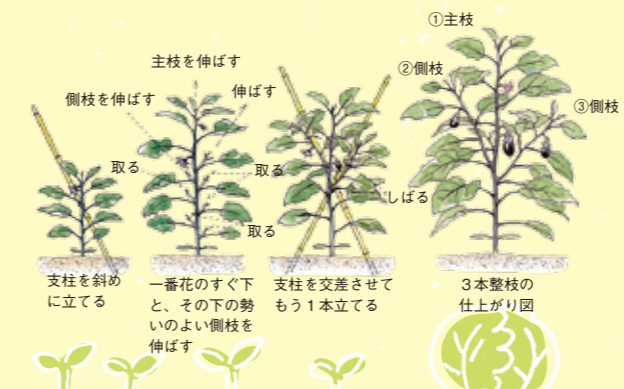
③ 植え付け

早植は避け、マルチをして地温を高めると格段に良く育ちます。



④ 支柱立て・誘引・整枝

主枝が50cmくらいになるころから誘引し、最終的に3本から4本仕立てになるように整枝しましょう。



おいがわ 今月の作物
はたけ日和



ナス

・植物分類 ナス科 ・原産国 インド東部

煮たり、焼いたり、揚げたりと多くの用途があるナスは果菜類のなかでも育てやすく、家庭菜園によく取り入れられています。色つや、鮮度のよい実を長い間収穫できることも魅力です。卵サイズの丸型から細長い大長ナスなど形や大きさも様々あります。用途に合わせた品種を選びましょう。

アブラムシやダニ類などがつきやすいので、葉色に注意して発生初期に葉の表裏に薬剤を散布しましょう。



中川根営農経済事業所 川畑賢太郎